

こくさんわぎゅうにく あじ きゅうしょく 「国産和牛肉を味わう給食」

おいしそうなサーロイン
肉が届きました。



〈 献立 〉
バターライス
ビーフストロガノフ
ツナサラダ
ヨーグルト苺ソース

2月18日の給食は「国産和牛肉をあじわう給食」でした。

使用した牛肉は、新型コロナウイルス感染症の影響で需要が減少した和牛肉に対し、農林水産省が販売促進事業の一環として、学校給食での提供を推進し無償提供されました。

給食委員がお昼の放送で給食紹介をしました。その中で、今回の給食の牛肉と新型コロナウイルス感染症のつながりについて下の内容を伝えました。

私たちは感染症を広げないようにするために、人がたくさん集まるところに行くことを控えるようになりました。レストランなどのお店で食事をする人や旅行に行く人も減りました。そのため、お客さんに出すはずだった いろいろな食べ物が余ってしまいました。食べものを作っている多くの人達が、悲しみ困ってしまいました。牛肉もその一つです。

そこで、国が子どもたちに、日本で育ったおいしい牛肉を味わってもらおうと、学校給食用に牛肉を出してくれたそうです。牛を育てている人も喜んでくれると思います。

私たちは毎日当たり前のように食事をしています。みなさんは自分が食べている食べ物は、だれが育てているのか考えたことがありますか？全ての食べものは、それを育てている人、加工する人、運ぶ人、料理する人など、たくさんの人々がいて、食べる人まで届きます。食事は、動物や植物の命をいただくことです。感謝の気持ちを込めて、食べる前の「いただきます」、食べ終わったときの「ごちそうさま」をしましょう。



各クラスでは担任から、国産和牛肉給食をきっかけに、「農場から食卓まで」「1頭の牛からとれるもの」「肉の部位」「牛肉料理」などの話をしました。

給食室にも、こどもたちからたくさんの「おいしかったです！」の声が届きました。残食もとても少なかったです。